

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	8年3月6日		～ 2008年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	8年3月6日		～ 8年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	8年4月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画やプログラムへの意見を出しやすい。	小規模施設であるため皆の意見を聞き取り易く、支援や活動に反映できる。	定期的にプログラムの相談、見直しを行う時間を設ける。
2	利用児の数に対しての必要に応じて職員配置を充実させることができる。	個別のニーズに対応しやすい。 必要となる支援内容の違いから活動を分けて小グループでの行動が叶えられる。 静養室の利用(クールダウン)	療育的観点からの個別プログラムの作成 希望によりペアレントトレーニングの実施
3	地域社会とのつながり	施設外活動を多く経験する。 外出することでの社会性の担保。	外出時のルールとマナーの学びの実践。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内で利用児・指導員が全員で過ごすには圧迫感がある。	発達支援室が一体化された空間ではない為活動・行動に制限が多く発生する。	天候がよいときには外活動を積極的に取り入れる。
2	事業者の活動内容や作成している書類(マニュアル等)の周知不足。	ホームページの更新やSNSでの発信不足。	今年度は担当職員の配置を検討して定期的に更新することで多くの人に周知する。
3	安全・安心な外遊び場の設置がない。	施設の敷地内は駐車スペース以外は狭く、送迎車や職員の車の出入りもあるために常に注意が必要。	歩いて移動できる範囲で安全な外遊びができる場所を確保したい。